



Simply Better Connections

CM1942

2ポートDisplayPortデュアルディスプレイ ミニマトリックスKVMスイッチ (4K & マルチスクリーンコントロール対応) ユーザーマニュアル

本書 日本語マニュアルについて

この日本語マニュアルはATEN International Co., Ltdが作成した英語版ユーザーマニュアルを、日本国内のお客様が製品をご使用になる上での便宜を図るため、ATENジャパン株式会社にて機械翻訳ベースで作成したドキュメントです。用語・表現等は公開前に人為的な修正を加えておりますが、若干の表記ゆれなどが残っている可能性がございますので、ご理解願います。また、グローバル共通のマニュアルを翻訳したドキュメントであるため、日本国内でのお取り扱いがない機種が含まれている場合がありますことを、ご了承ください。

製品の取扱説明書としての整合性は英語版ユーザーマニュアルに準じますが、万が一内容に不備・誤り等がございましたら、誠にお手数ですが、ATENジャパン株式会社までお問い合わせさせていただきますよう、お願い申し上げます。

適合性に関する宣言

連邦通信委員会(FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION INTERFERENCE STATEMENT)

本製品は、FCC規則のPart15に従って、Class Bデジタルサービスの制限に準拠していることがテストされ、確認されています。これらの制限は、居住地域における設置において、有害な干渉から適度に保護するために設計されています。この装置に変更や改造を加えると、この装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。本装置は高周波エネルギーを発生、使用、また放射する可能性があります。指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。しかし、特定の設置条件で障害が発生しないことを保証するものではありません。この機器が無線およびテレビの受信に有害な干渉の原因になったかどうかは、機器のオフ・オンによって判定できますが、こういったことを引き起こす場合は、以下にある対策のひとつ、あるいはいくつかを行って干渉をなくすよう試してみることを推奨します。

- 受信アンテナの向きを変えるか、または位置を変えてください。
- 製品本体と受信アンテナの距離を離してください。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続してください。
- 販売店またはラジオ/テレビ技術者に問い合わせてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則のPart15に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、全ての干渉を受け入れなければならないこと。

FCCによる注意: 本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。



カナダ産業省による宣言

Class Bの本デジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

CAN ICES-003 (B) / NMB-003 (B)

HDMI商標に関する宣言

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称RoHS指令に準拠しております。

ユーザー情報

ユーザーの皆様へ

このマニュアルに記載する全ての情報、ドキュメント、および仕様は、製造元から予告なしに変更する場合があります。製造業者は、本契約の内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証を行わず、特定の目的のための商業性または適合性に関するいかなる保証も放棄します。このマニュアルに記載する製造元のソフトウェアは、そのまま販売またはライセンスを受けています。購入後にプログラムの欠陥が判明した場合、購入者（メーカー、代理店、または販売店は除く）が、必要な全てのサービス、修理、およびソフトウェアの欠陥に起因する付随的または派生的損害の全費用を負担します。

このシステムの製造業者は、この装置に対して許可されていない変更によって引き起こされる無線やTVへの干渉には責任を負いません。このような干渉を訂正することは、ユーザーの責任です。

動作前に正しい電圧を設定していない場合、製造業者は、このシステムの動作において被るいかなる損害に対しても責任を負いません。使用前に電圧設定が正しいことを確認してください。

同梱品

全てのアイテムが正常に動作するか確認してください。問題が発生した場合は、購入元にお問い合わせください。

- 2ポートDisplayPortデュアルディスプレイ ミニマトリックスKVMスイッチ (4K&マルチスクリーンコントロール対応)CM1942×1
- DisplayPortケーブル×4
- マイクケーブル×2
- スピーカーケーブル×2
- USB3.0 Type-A→Type-Bケーブル×2
- ワイヤードリモコン×1
- 電源アダプター×1
- クイックスタートガイド×1

注意:

4K解像度の出力には、高品質なDisplayPortケーブルが必要になります。

目次

適合性に関する宣言	i
ユーザー情報	iii
ユーザーの皆様へ	iii
同梱品	iv
目次	v
本マニュアルについて	viii
マニュアル表記について	ix
第1章 はじめに	1
概要	1
特長	2
システム要件	3
コンソール	3
コンピューター	3
ケーブル	3
オペレーティングシステム	4
製品各部名称	5
ビープ音の動作	9
第2章 ハードウェアのセットアップ	10
ケーブルの接続	10
接続図	12
第3章 基本操作	13
ポート切り替え	13
手動切り替え	13
マウスによる切り替え	14

キーボード操作による切り替え	14
有線リモコンによる切り替え.....	14
マルチスクリーンコントロール.....	14
操作モードの切り替え	15
操作モード	16
シングルPCモード	16
デュアルPCモード	16
ホットプラグ	20
電源オフと再起動	20
ポートIDの番号について	21
手動ポート選択の代替設定	21
第4章 ホットキー操作.....	22
ポート切り替え.....	22
ポートの循環切り替え.....	23
ポートのダイレクト切り替え	24
デュアルモード専用ホットキーコマンド(要らない?) エラー! ブックマークが定義されて いません。	
オートスキャン	27
ホットキー設定モード(HSM)	28
HSMの起動.....	28
HSM起動の代替キー	29
ポート切り替えの代替キー	29
キーボードエミュレーションモード.....	30
製品本体における設定の一覧表示	30
USBのリセット	31
キーボード言語	31
ビープ音の制御	31
ホットキーによるポート切り替え.....	32
ファームウェアアップグレードモード.....	32
デフォルト設定の復元.....	33
電源状態検知機能.....	33
手動ポート選択の代替設定.....	33

キーボードエミュレーションの制御	34
マウスエミュレーションの制御	34
マウスによるポート切り替え	34
PC操作モードの設定	34
Nキー・ロールオーバー対応機能	35
マルチスクリーンコントロール	35
ステレオオーディオミキサー	39
EDIDモード	41
HSM一覧表	42
第5章 キーボードエミュレーション	44
Macキーボード	44
Sunキーボード	45
第6章 ファームウェア アップグレードユーティリティ	46
セットアップの前に	46
アップグレードの開始	48
アップグレードの成功	51
アップグレードの失敗	51
付録	52
安全にお使いいただくために	52
トラブルシューティング	55
概要	55
仕様	57
ホットキーのデフォルト設定	59

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CM1942を最大限に活用するために取り付け・セットアップ・操作について詳しく説明しています。マニュアルの構成は下記のとおりです。

第1章 はじめに:CM1942の特長、機能概要および本体各部名称について説明します。

第2章 ハードウェアのセットアップ:セットアップ方法に必要な手順を解説しています。

第3章 基本操作:CM1942の基本的な操作方法について説明します。

第4章 ホットキーの操作:CM1942のホットキー操作のコンセプトと手順について詳しく説明します。

第5章 キーボードエミュレーション:PCからMacキーボード、およびPCからSunキーボードへのキー操作情報を表形式で説明します。

第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:CM1942のファームウェアを最新バージョンへ更新する方法について説明します。

付録:CM1942に関する規格等の技術情報を提供します。

注意:

- 製品本体や、接続機器に対して損傷を与えないように、必ず、本マニュアルに記載されている内容に従ってセットアップや操作を行うようにしてください。
 - このマニュアルのリリース以降に、製品の機能や特長が追加・改良・削除されることで、アップデートされる場合があります。最新の取扱説明書については、<http://www.aten.com/global/en/>をご覧ください。
-

マニュアル表記について

このマニュアルでは、次の規則を使用します。

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]はEnterキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記します。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業手順ではありません。

> 次に表示するオプション(メニューやダイアログボックスなど)の選択を表します。例えば、「スタート」>「実行」は、「スタート」メニューを開いてから、「実行」を選択する操作を示します。



重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

概要

CM1942は、2ポートのKVMスイッチで、デュアルディスプレイのDisplayPort出力のPCを2台まで接続できます。特色として、各ディスプレイのメイン出力を個別に切り替えるモードを有しています。また切り替え方法によって隣のコンピューターへ瞬時にアクセスできる機能が搭載されています。CM1942は、2台のデュアルモニターPCのKVM切り替えを容易に実現するべく、2つの操作モードを提供しています。シングルPCモードでは、デュアルモニターのPC画面を2台のモニターに同時表示します。デュアルPCモードでは、片方ずつの画面を切り替えて表示します。

本製品は高度なビデオ性能を誇り、最大4K DCI(4096 × 2160@60Hz)のビデオ解像度で、よりクリアで鮮やかなHDMI接続を実現します。CM1942では、便利なプッシュボタン、ホットキー、マウスホイール、マウスカーソル、有線リモコンなどで2台のコンピューターを素早く簡単に切り替えることができます。マルチスクリーンコントロールとは、マウスカーソルを画面端まで移動するだけで、他のPC操作へ切り替えて即時アクセスができる機能です。製品本体に内蔵された2ポートUSB 3.1 Gen 1ハブを使用すると、接続された周辺機器へのアクセスが2台のコンピューター間で簡単に行えます。周辺機器は、KVMの選択状況とは連動せずに、個別に切り替えることができます。さらに、CM1942は、最大のマルチメディア操作効率が得られるように最大5Gbpsのデータ転送速度に対応することで、デスクトップマルチタスクの手間を解消し、生産性を高めます。

デュアルディスプレイ、超高速データ転送速度、ロスレス4Kビデオ解像度に対して高まり続けるユーザーニーズに応えるために設計されたCM1942は、グラフィックデザイン、金融取引、ビデオポストプロダクションなど、マルチタスクが不可欠なシステム向けに特別に設計されたソリューションです。

特長

- 1か所のコンソール(USB/HDMIデュアルディスプレイ)から、DisplayPortコンピューター2台とUSB 3.1 Gen 1 周辺機器2台を操作可能
- 2種類のPC動作モード:
 - シングルPCモード - 選択中のPC画面を2つのモニターに表示
 - デュアルPCモード - 2台のメイン画面を1台ずつモニター表示
- 解像度 - 最大4K DCI(4096 × 2160@60Hz)に対応
- コンピューターの切り替え方法 - プッシュボタン、ホットキー、マウスホイール^{※1}、マウスカーソル、有線リモコン
- マルチスクリーンコントロール - マウスカーソルを画面端に移動させることで、操作PCを切り替え
- Video DynaSync™ - ATEN独自技術による、PC起動時の表示問題を回避し、ポート切り替え時の解像度を最適化
- オーディオミキサーモード - 2系統の音源を1系統のオーディオ出力にミキシング出力(同時再生のみ、音量調整機能なし)
- DisplayPort 1.2^{※2}、HDMI、HDCP準拠
- SuperSpeed 5Gbpsデータ転送速度の2ポートUSB 3.1 Gen 1ハブを内蔵
- PC電源状態検知機能
- コンソールマウスポートのエミュレーション/バイパス機能 - 大半のマウスドライバと多機能マウスをサポート
- コンソールキーボードエミュレーション/バイパス機能 - 大半のマルチメディアキーボードをサポート
- 多言語キーボードマッピング - 英語、フランス語、日本語、ドイツ語の各キーボードをサポート

注意:

1. マウスによるポート切り替えは、USB 3ボタン・マウスホイールを使用したマウスエミュレーション有効時でのみ利用できます。
 2. DisplayPort準拠のディスプレイデバイスの場合は、バージョン間の互換問題を避けるため、各機器がすべてDisplayPort1.2に設定されていることを確認してください。
-

システム要件

コンソール

- 最大で4K解像度が表示できるHDMIディスプレイ2台
- USBマウス
- USBキーボード
- マイクおよびスピーカー

コンピューター

各コンピューターで以下のハードウェア環境が必要です。

- DisplayPortポート×2
- USB Type-Aポート×1
- オーディオポート

ケーブル

ビデオ品質を保証するために、ATEN純正またはVESA準拠プログラムによって認定されているDisplayPort KVMケーブルを使用してください。

注意:

- 表示画質や表示安定性は、ケーブルの品質に影響されます。ソースからモニターまでの合計長を超えないようにセットアップしてください。(パソコンとKVMスイッチの間は1.5m、KVMスイッチとモニターの間は1.5m)

間は1.8m)。追加でケーブルが必要な場合は、販売店にご連絡の上、ATEN認定ケーブルをお求めください。

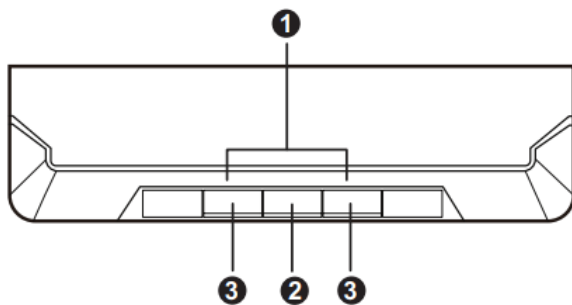
- DP1.1にのみ準拠したDisplayPortケーブルを使用している場合、モニターのDisplayPort設定が自動またはDP1.1に設定され、解像度やリフレッシュレートに制限が発生する原因となります。
-

オペレーティングシステム

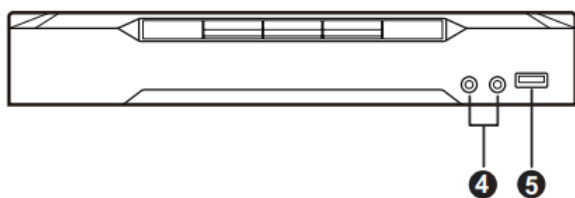
- Windows
- Mac
- Linux

製品各部名称

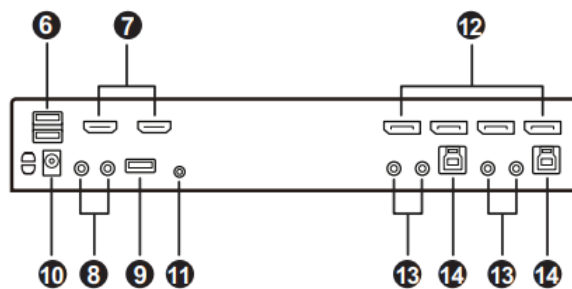
トップパネル



フロントパネル

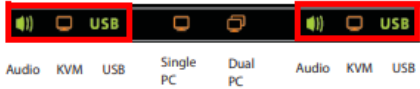
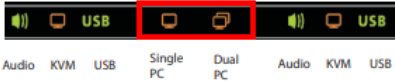


リアパネル



番号	名称	説明
----	----	----

トップパネル

1	ポートLED	<p>LEDの点灯状況によって、モードと状態を示します。</p>  <p>KVM</p> <ul style="list-style-type: none"> • 暗いオレンジ色に点灯している場合、コンピューターの電源ONまたはUSBが給電可能状態(オンライン状態)を示します。 • 明るいオレンジ色は、ポート選択中を意味します。 • 点滅の場合、オートスキャンモードで動作していることを示します。 • 全てのLEDが同時点滅している場合、ファームウェアアップグレードモードであることを示します。 <p>USB</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯している場合、選択中のポートにてCM1942に接続したUSBデバイスが利用できます。 <p>オーディオ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯している場合、選択中ポートのPCオーディオ出力を選択していることを示します。
2	モード選択ボタン	<p>LEDの点灯状況によって、モードと状態を示します。</p>  <ul style="list-style-type: none"> • モード選択ボタンを長押ししたままCM1942の本体電源を入れると、ファームウェアアップグレードモードに入ります。詳細はp.46「ファームウェアアップグレードユーティリティ」を参照ください。 • 起動中にモード選択ボタンを押すと、シングルPCモードとデュアルPCモードで動作モードを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • シングルPCモード - 2画面表示の1台のPCを切り替えて操作するモードです。 • デュアルPCモード - 2つのディスプレイで両ポートのメインディスプレイだけを表示して操作するモードです。

番号	名称	説明
3	ポート選択ボタン	<p>ボタンの操作方法で切り替え内容が変わります (p.13「手動切り替え」参照) :</p> <ul style="list-style-type: none"> 短押しでボタンを押すと、KVM、USBハブ、オーディオを切り替えます。 2秒以上ボタンを押すと、KVMだけを切り替えます。 ボタンを連続で2回押しと、オーディオだけを、そのポートに接続されたコンピューターに切り替えます。 (シングルモードでのみ)ポート1・2のボタンを同時に2秒間押しと、オートスキャンモードを開始します (p.27「マウスカーソルによるマルチスクリーンコントロール」参照)。デュアルモードではモードに入りますがスキャン機能(画面切り替え)は動作しません。

フロントパネル

4	オーディオジャック	<p>マイクとスピーカーを接続します。</p> <p>注意: フロントパネルに接続されているマイクとスピーカーは、リアパネルに接続されているものより優先して入力または出力されます。</p>
5	USB 3.1 Gen 1 Type-Aポート	<p>USB周辺機器(プリンター、スキャナー、ドライブなど)を接続します。このUSB 3.1 Gen 1ポートは、互換性のあるUSB周辺機器用に5Gbpsのデータ転送速度を提供します。</p>

リアパネル(コンソールポートセクション)

6	USB 2.0 Type-Aポート	<p>キーボード(6)、マウス(6)、モニター(7)、マイク(8)、スピーカー(8)のケーブルを接続します。各コネクタには、それぞれを示す適切なアイコンが付いています。</p>
7	HDMI出力	
8	オーディオジャック	<p>キーボード専用ポートに接続したキーボードのみが、ホットキー操作ができるようになります。同様にマウス専用ポートに繋いだマウスだけがホイールクリックの切り替えが利用できます。</p>
9	USB 3.1 Gen 1 Type-Aポート	<p>USB周辺機器(プリンター、スキャナー、ドライブなど)を接続します。このUSB 3.1 Gen 1ポートの転送速度は最大5Gbpsです。</p>
10	電源ジャック	<p>電源アダプターを差し込みます。</p>
11	リモコン用ジャック	<p>同梱の有線リモコンを接続します。</p>

番号	名称	説明
リアパネル(KVM ポートセクション)		
12	DisplayPort入力	コンピューターと同梱ケーブルで接続します。各KVMポートセクションは、マイクジャック、スピーカージャック、USB Type-Bポート、および2つのDisplayPortコネクタから構成されています。
13	オーディオジャック	コンピューターと同梱ケーブルで接続します。各KVMポートセクションは、マイクジャック、スピーカージャック、USB Type-Bポート、および2つのDisplayPortコネクタから構成されています。
14	USB Type-Bポート	コンピューターと同梱ケーブルで接続します。各KVMポートセクションは、マイクジャック、スピーカージャック、USB Type-Bポート、および2つのDisplayPortコネクタから構成されています。

ビープ音の動作

サウンド	説明
ビープ音が1回	<ul style="list-style-type: none">• ポートの変更• オートスキャンの起動• オートスキャンの一時停止/再開
長いビープ音が1回	<ul style="list-style-type: none">• CM1942本体の電源投入• CM1942本体の再起動
ビープ音が2回	<ul style="list-style-type: none">• オートスキャンの中断• キーボードエミュレーション オフ• USB同期の終了など

ビープ音を有効または無効にする場合は、p.31「ビープ音の制御」を参照してください。

第2章

ハードウェアのセットアップ



1. 設置に関する安全上の注意については、p.52を参照してください。作業前に必ず目を通してください。
2. 電力サージや静電気によるシステムの損傷を防ぐために、全ての接続デバイスを適切に接地してください。
3. 取り付ける全てのデバイスの電源をオフにしてください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、電源ケーブルを抜いてください。
4. 環境温度が高い場合は、注意してデバイスを操作してください。このような条件下では、デバイスの表面が過熱する可能性があります。例えば、環境温度が50°Cに近づくと、装置の表面温度が70°C以上になる場合があります。

ケーブルの接続

セットアップは、次ページの接続図(図内における番号は以下の手順に対応)を参考にしながら、次の手順に従って作業を行ってください。

1. USBキーボードとUSBマウスを製品背面にある専用ポートに接続してください。(接続場所ごとに各イラストがあります)
2. HDMIディスプレイを本体背面のHDMI出力ポートに接続します。
3. 優先して使うマイクとスピーカーを、フロントパネルにあるオーディオジャックに接続してください。オプションで、セカンダリーのマイクとスピーカーを使う場合は、本体背面にあるオーディオジャックに接続します。

注意:

フロントパネルに接続されたマイクとスピーカーは、背面のジャックに接続されたものよりも優先されます。

4. 製品付属のケーブルを、PCと接続します。ポートごとにオーディオ、ビデオ、USBケーブルと接続してください。

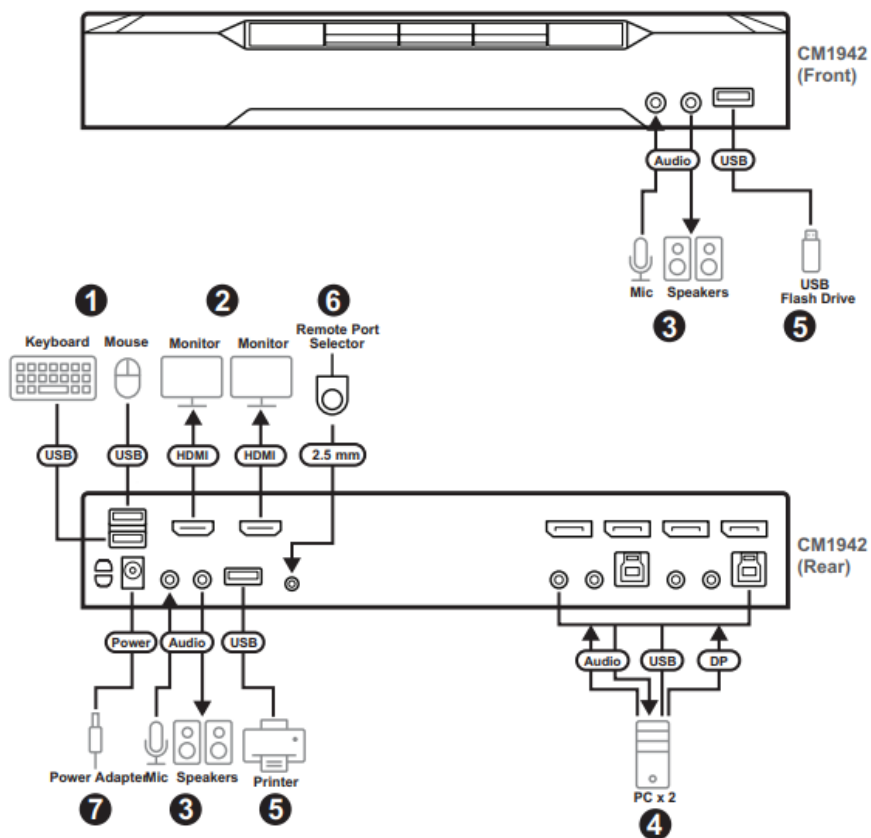
注意:

ビデオとUSBケーブルを適切な組み合わせでCM1942と接続しない場合、ポート操作とPC操作が一致なくなる原因になります。

オーディオなどのケーブルは接続しなくてもご利用いただけます。

5. (オプション)PCに接続したいUSB周辺機器をCM1942のフロントパネルにあるUSBポートに接続します。
6. (オプション)有線リモコンを使用するには、本体背面の専用ジャックに接続してください。
7. 電源アダプターを本体の電源ジャックに接続してください。これでCM1942に電源が入ります。
8. コンピューター、ディスプレイ、その他の接続機器に電源を入れてください。

接続図



第3章 基本操作

ポート切り替え

コンピューターを切り替えるには、5つの便利な方法があります。

- 1. フロントパネル操作
- 2. マウス操作(スクロールホイールのダブルクリック)
- 3. キーボードのホットキー操作
- 4. リモコン操作
- 5. マルチスクリーンコントロール(マウスカーソルを画面端に移動させての切替え)

手動切り替え

フロントパネルのボタン操作では次のような使い分けができます：

- ボタン短押しで、KVM・USB・オーディオを切り替えます。
- ボタンを2秒以上長押しで、KVMだけを切り替えます。このとき、USBとオーディオの選択状態は変更されません。
- ボタンを連続2回押すと、オーディオだけを切り替えます。
- ポート1と2ボタンを同時に2秒以上長押しで、オートスキャンモードが起動します(p.27参照)。
- オートスキャン中にポートボタンを押すと、オートスキャンモードを停止し押したボタンのポートに切り替わります。

マウスによる切り替え

マウスのスクロールホイールをダブルクリックすると、ポートを切り替えます。

注意:

- ホイールクリック切り替えのみで、他ボタンへの変更できません。
- デフォルトでは機能は無効です。使用するには、p.28「ホットキー設定モード(HSM)」を参照し設定してからお使いください。
- マウス切り替え機能は、マウスエミュレーションが有効な場合にのみ利用できます。

キーボード操作による切り替え

[Scroll Lock]キーを2回押して開始します。詳細については、p.22「ホットキー操作」を参照して下さい。

有線リモコンによる切り替え

ボタン操作でポートを順番に切り替えます。使用時には有線リモコンは本体に緩みなく接続ししっかり接続できるか確認してからご利用ください。

マルチスクリーンコントロール

マルチスクリーンコントロールとは、カーソルを画面端まで移動させるとポート切り替える機能です。画面端のカーソルをさらに隣の画面に移動させると、ポートが切り替わります。この機能を使用するには必ず、Windows設定でマウス加速(ポインタの精度を高める)をオフにしてください。また、CM1942の設定も行ってください。

- 接続されている全てのディスプレイの画面サイズ(ホットキー使用)。詳細については、p.36「画面解像度の設定」を参照してください。
- ホットキーによるモニターレイアウト。詳細については、p.36「モニターレイアウトの設定」を参照してください。

操作モードの切り替え

操作モードにはシングルPCモードとデュアルPCモードと、2つのモードがあります。用途に合わせてモードを切り替えてご利用ください。

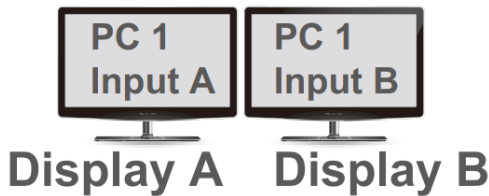
- ◆ ホットキーで切り替える場合：HSM起動後、[O]、[Enter]と順番にキー入力をして、モードを入れ替えます。詳細はp.34「PC操作モードの設定」を参照してください。
- ◆ 有線リモコンでモードを切り替える場合：同梱のリモコンのボタンを3秒以上長押しします。

操作モード

CM1942では、2種類の操作モードを切り替えてご利用いただけます。デュアルディスプレイ用KVMスイッチとして利用したり、2台のPCのメインディスプレイを同時に表示したりすることができます。

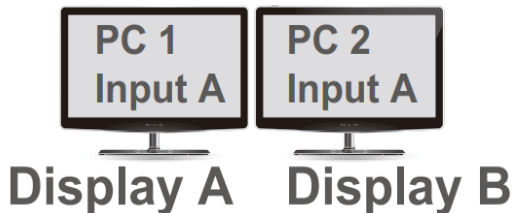
シングルPCモード

デュアルディスプレイ表示(デフォルト)



デュアルPCモード

2台のPCのメインディスプレイを同時に表示

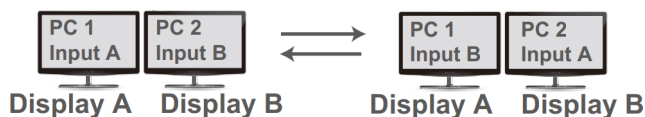


デュアルPCモードでの操作方法については、p.18「デュアルディスプレイのレイアウト」を参照してください。デュアルPCモードにしてから、モニターのレイアウト設定をしてください(p.34「PC操作モードの設定」参照)。

デュアルPCモードを使用するにあたって

2台のPCのメインディスプレイを2台のモニターに同時に出力するには、次の設定をします。この機能を利用する場合は、CM1942にあらかじめv1.0.066以降のファームウェアを適用している必要があります。

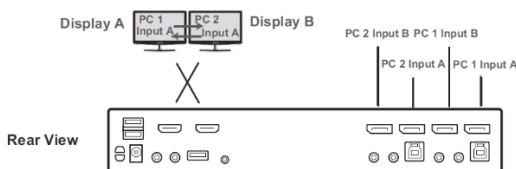
- ◆ 2台のPCのビデオ出力においてメインディスプレイの出力をCPUポートのDisplayPort入力ポート(A)に接続していることを確認してください。
- ◆ ホットキーセッティングモードにてEDIDモードを初期設定のデフォルト($n = 1$)以外に設定してください。これは接続しているモニターの解像度が異なる場合、マウスカーソルが正しく操作ができなくなる原因となるためです。設定詳細はp.41「EDIDモード」を参照してください。
- ◆ 2台のPCの解像度は統一してご利用ください。異なる解像度のPCを組み合わせて使用すると、カーソル操作が正しく動作しなくなります。



デュアルディスプレイのレイアウト設定例

レイアウト1 (横2画面構成)

DisplayA(左)にPC1のメイン、DisplayB(右)にPC2のメインを表示するレイアウト

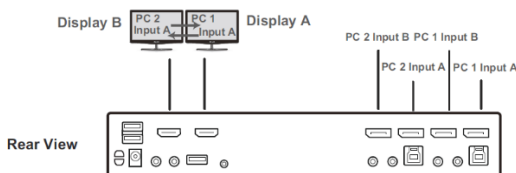


ホットキー:

[HSM起動キー(p.28参照)] + [P] + [A] + [1] + [2] + [Enter]

レイアウト2 (横2画面構成)

DisplayA(左)にPC2のメイン、DisplayB(右)にPC1のメインを表示するレイアウト

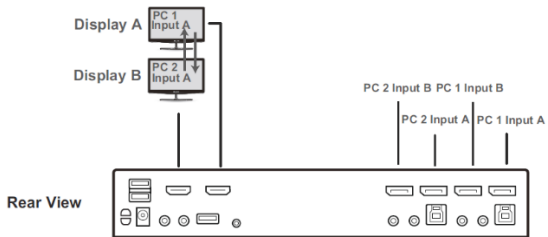


ホットキー:

[HSM起動キー(p.28参照)] + [P] + [A] + [2] + [1] + [Enter]

レイアウト3 (縦2画面構成)

DisplayA(左)を上画面にPC1のメイン、DisplayB(右)を下画面にPC2のメインを表示するレイアウト

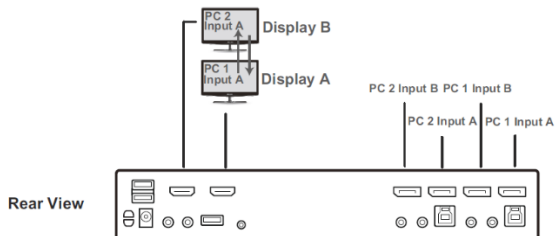


ホットキー:

[HSM起動キー(p.28参照)] + [P] + [A] + [1] + [B] + [2] + [Enter]

レイアウト4 (縦2画面構成)

DisplayA(左)を上画面にPC2のメイン、DisplayB(右)を下画面にPC1のメインを表示するレイアウト



ホットキー:

[HSM起動キー(p.28参照)] + [P] + [A] + [2] + [B] + [1] + [Enter]

ホットプラグ

CM1942はUSBホットプラグに対応しています。CM1942のUSBハブポートにUSBデバイスを接続していれば切り替え操作をするだけでデバイスをPCから抜き差しする必要はありません。

電源オフと再起動

CM1942の本体の電源を切る必要がある場合は、次の操作を行ってください。

1. 製品本体に接続されている全てのコンピューターをシャットダウンしてください。
2. CM1942本体から電源アダプターを外してください。
3. 再起動の場合は10秒以上待ってから、電源アダプターを差し込んでください。
4. CM1942本体の起動準備が完了したら、コンピューターの電源を入れてください。

ポートIDの番号について

CM1942には、PCのポート番号(1~2)が割り当てられています。ポート番号は、KVMスイッチのリアパネルの印刷で確認できます(CPU1およびCPU2)(詳細はp.5を参照)。

ポートIDは、ホットキー操作などでポートを指定する時に使用します。例えば、ポート2に繋いだPCを操作する時は、ホットキーコマンドで2と指定することで切り替えできます。

ポートIDは、ホットキーによる切り替え(詳細はp.22参照)で、どのコンピューターのKVM・USB周辺機器・オーディオを選択するかを指定するのに使われます。

手動ポート選択の代替設定

ホットキー設定時に[S]を押すと、フロントパネルのボタン操作での短押しと長押し時の挙動を入れ替えられます。以下は初期設定です。

- ポートボタンを1回短押し、KVM・オーディオ・USBを、対応するポートに接続されているコンピューターに切り替えます。
- ポートボタンを2秒以上押し続けると、KVMだけを、対応するポートに接続されているコンピューターに切り替えます。
- ポート選択ボタンを2回押すと、オーディオだけを、対応するポートに接続されたコンピューターに切り替えます。
- ポート選択ボタン1と2を2秒以上長押しすると、オートスキャンモードが起動します。詳しくはp.27を参照してください。

第4章 ホットキー操作

CM1942には、KVMの切り替えや設定をキーボードから操作できる便利機能が用意されています。ホットキーを使うと、KVM・USBハブ・オーディオを個別で(独立して)切り替えることができます。

ポート切り替え

キーボードでのポート切り替えは、[Scroll Lock]キーを2回タイプして始めます。以下の表では、キーの組み合わせでどれを切り替えるかの説明をしています。

注意:

コンピューターで実行されている他のプログラムで[Scroll Lock]キーが使用されていて競合する場合は、代わりに[Ctrl]キーを使用できます。詳細については、p.29「ポート切り替えの代替キー」を参照してください。

ポートの循環切り替え

ホットキー	アクション
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	<p>現在選択しているポートから、KVM・USBハブ・オーディオを次のポート(1から2、2から1)に切り替えます。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Scroll Lock]を2回押してください。 2. [Enter]を押してください。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	<p>現在選択しているポートから、KVMだけを次のポートに切り替えます。USBハブとオーディオは変更されません。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Scroll Lock]を2回押してください。 2. [K]を押してください。 3. [Enter]を押してください。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [U] [Enter]	<p>現在選択しているポートから、USBハブだけを次のポートに切り替えます。KVMとオーディオは変更されません。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Scroll Lock]を2回押してください。 2. [U]を押してください。 3. [Enter]を押してください。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	<p>現在選択しているポートから、オーディオだけを次のポートに切り替えます。KVMおよびUSBハブは変更されません。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Scroll Lock]を2回押してください。 2. [S]を押してください。 3. [Enter]を押してください。

ポートのダイレクト切り替え

ホットキー	アクション
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	<p>KVM・USBハブ・オーディオを、ポートID指定で切り替えます。以下はポート2を指定して切り替える方法です。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Scroll Lock]を2回押してください。 2. [2]を押してください。 3. [Enter]を押してください。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [Enter]	<p>KVMだけを、指定したポートに切り替えます。USBハブとオーディオは変更されません。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Scroll Lock]を2回押してください。 2. [2]を押してください。 3. [K]を押してください。 4. [Enter]を押してください。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [Enter]	<p>USBハブだけを、指定したポートに切り替えます。KVMとオーディオは変更されません。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Scroll Lock]を2回押してください。 2. [2]を押してください。 3. [U]を押してください。 4. [Enter]を押してください。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [S] [Enter]	<p>オーディオだけを、指定したポートに切り替えます。KVMとUSBハブは変更されません。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Scroll Lock]を2回押してください。 2. [2]を押してください。 3. [S]を押してください。 4. [Enter]を押してください。

ホットキー	アクション
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [U][Enter]	KVMとUSBハブ を、指定したポートに切り替えます。オーディオは変更されません。 例: <ol style="list-style-type: none"> 1. [Scroll Lock]を2回押してください。 2. [2]を押してください。 3. [K]を押してから、[U]を押してください。 4. [Enter]を押してください。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S][Enter]	KVMとオーディオ を、指定したポートに切り替えます。USBハブは変更されません。 例: <ol style="list-style-type: none"> 1. [Scroll Lock]を2回押してください。 2. [2]を押してください。 3. [K]を押してから、[S]を押してください。 4. [Enter]を押してください。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [S] [Enter]	USBハブとオーディオ を、指定したポートに切り替えます。KVMは変更されません。 例: <ol style="list-style-type: none"> 1. [Scroll Lock]を2回押してください。 2. [2]を押してください。 3. [U]を押してから、[S]を押してください。 4. [Enter]を押してください。

ホットキー	アクション
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S][U][Enter]	<p>KVM・USBハブ・オーディオを、指定されたポートに切り替えます。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Scroll Lock]を2回押してください。 2. [2]を押してください。 3. [K]、[S]、[U]の順にキーを押してください。 4. [Enter]を押してください。 <p>注意:</p> <p>[Scroll Lock][Scroll Lock][n][Enter]と同じアクションです。</p>

注意:

nは、コンピューターのポートID番号(1または2)を表します。詳しくは、p.21「ポートIDの番号について」を参照してください。ホットキーの組み合わせを入力するときは、[n]を適切なポートIDに置き換えてください。

オートスキャン

CM1942のオートスキャン機能は、一定の間隔でKVMの選択ポートを自動で切り替えます。監視用途などで、ポートを手動で切り替える手間を省くことができます。詳細については、以下の表を参照してください。

ホットキー	アクション
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンを呼び出します。KVMを選択するポートが、初期設定では5秒間隔で切り替わります。秒数指定でスキャンモードを実行した後は、新たに設定するまではその秒数で切り替えます。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [n] [Enter]	KVMの選択ポートは、n秒間隔、指定した秒数で切り替わります。 (n = 1~99)

注意:

- **秒数指定のn**は次のポートに移動するまでの秒数を表します。このホットキーの組み合わせを入力する場合は、nを1~99の数値に置き換えてください。
- オートスキャンモードはシングルモードでのみ作動します。デュアルモードでは切り替えしません。
- スキャンモード中は、特定のキー入力とマウスクリックだけが機能します。
- 通常モードに戻るには、スキャンモードを[Esc]キーまたは[Space]バーで終了します。
- 通常モードに戻ると、オーディオとUSBの選択ポートはスキャンを開始した時に選択していたポートに戻ります。

ホットキー設定モード(HSM)

ホットキー設定モード(HSM)は、CM1942の本体設定に使用します。ホットキーを操作する前に、キーボードを本体背面のキーボード専用ポートに接続していることを確認してから起動してください。

HSMの起動

HSMを起動するには、次の手順に従って作業を行ってください。

1. [Num Lock]キーを押したままにします。
2. [-]キーを押したら、このキーを押した指を離してください。
3. [Num Lock]キーから指を離してください。

注意:

HSMの起動には代替キーの組み合わせがあります。詳細は下記を参照してください。

HSMが起動に成功すると、Caps LockとScroll LockのLEDが交互に点滅します。HSMを終了すると、点滅が停止し、通常の状態に戻ります。

設定中はPCの操作はできません。機能変更のための各キー(以降のセクションで説明)だけがキー入力を受け付けます。

ホットキー操作が成功または完了すると、ホットキーモードが自動的に終了します。一部の操作は、手動で終了する必要があります。手動でHSMを終了するには、[Esc]キーまたはスペースキーを押してください。

HSM起動の代替キー

[Num Lock]と[-]キーが利用できない場合、別のキー操作の組み合わせが用意されています。

代替のHSM呼び出し設定に切り替えるには、次のように操作してください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. [H]を押したら、このキーを押した指を離してください。

HSM呼び出しキーは、([Num Lock] + [-]ではなく)[Ctrl]+ [F12]になります。

注意:

変更後は、[Ctrl]を押しながら[F12]を押して離す操作になります。
元のHSM呼び出しキーに戻すには、HSMを呼び出し、[H]キーをもう一度押して、指を離します。

ポート切り替えの代替キー

キーボード操作のポート切り替えを[Scroll Lock]から、[Ctrl]キーを2回押す方法に変更します。設定変更するには次の手順で操作してください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. [T]を押したら、設定が変更されます。

注意:

元の[Scroll Lock][Scroll Lock]に戻すには、上記操作を再度行ってください。

キーボードエミュレーションモード

CM1942のCPUポートは、初期設定でWindows用に設定されています。コンソールにWindowsキーボードが使用されていて、CPUポートにMacまたは特殊OSが搭載されたPCを接続する場合は、以下手順で変更します。手順は次のとおりです。

1. KVM操作を行うコンピューターの接続ポートに切り替えてください。
2. HSMを起動してください(p.28参照)。
3. 適切なファンクションキー(下表参照)を押して、指を離してください。この手順が完了すると、HSMは自動的に終了します。

ファンクションキー	操作方法
[F1]	SPCモードを設定し、特殊なオペレーティングシステムで標準(104キー)キーボードとして動作できるようにします。
[F2]	Macキーボードのエミュレーションを有効にします。詳細はp.44を参照してください。
[F3]	Sunキーボードのエミュレーションを有効にします。詳細はp.45を参照してください。
[F10]	Windowsキーボードエミュレーションを有効にします。

製品本体における設定の一覧表示

製品本体における設定を一覧表示するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. テキストエディターまたはメモ帳を開き、ページウィンドウにカーソルを置いてテキストを書けるようにください。
2. HSMを起動してください(p.28参照)。
3. [F4]を押したら指を離してください。そうすると、テキストエディターに現在の設定を書き込みます。

USBのリセット

USBキーボードまたはマウスが一時的に通信不能になった場合、リセットで復旧できる場合は、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. [F5]キーを押したら、このキーを押した指を離してください。

キーボード言語

キーボードの言語を変更するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. [F6][nn][Enter]の順にキーを1つずつ押して、指を離してください。

注意:

nnは、キーボード言語コードを表す2桁の数字です(米国英語: 33、フランス語: 08、日本語: 15、ドイツ語: 09)。

ビープ音の制御

本体のビープ音のオン・オフができます。ビープ音のオン・オフを切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. [B]キーを押したら、このキーを押した指を離してください。

ホットキーによるポート切り替え

キーボードホットキーによるポート切り替えを有効/無効にするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. [X][Enter]を押してください。

無効にすると、ポート切り替えホットキー[Scroll Lock][Scroll Lock]および代替方法の[Ctrl][Ctrl])は機能しなくなります。

ファームウェアアップグレードモード

ファームウェアアップグレードモードを開始するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. upgradeと入力してください。
3. [Enter]を押してください。

フロントパネルのLEDが点滅し、ファームウェアアップグレードモードに入ったことを示します。

注意:

ファームウェアアップグレードモードをキャンセルまたは終了するには、製品本体の電源オフによる再起動をしてください。

デフォルト設定の復元

CM1942を初期設定に戻すには、次の手順で操作してください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. [R][Enter]を押してください。

全てのホットキー設定が出荷時のデフォルト設定に戻ります。

電源状態検知機能

電源状態検知機能を使うと、選択されているコンピューターの電源をシャットダウンした時、自動的に次の電源がオンになっているコンピューターへと切り替えます。デフォルトでは、有効に設定されています。電源状態検知機能を有効/無効にするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. [E]を押してください。

手動ポート選択の代替設定

フロントパネルのボタン操作で、長押しと短押しの切り替え内容を入れ替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. [S]を押してください。

フロントパネルのボタンを使った手動ポート選択設定の詳細については、p.21「手動ポート選択の代替設定」を参照してください。

キーボードエミュレーションの制御

キーボードポートに接続しているキーボードエミュレーションを使用可能/使用不可にするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. **[N]**を押してください。

マウスエミュレーションの制御

マウスポートに接続しているマウスエミュレーションを有効/無効にするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. **[M]**を押してください。

マウスによるポート切り替え

マウスエミュレーションを有効の状態でもウス切り替え設定を有効にすると、ホイールを2回クリックすることでポートを切り替えることができます。マウスによる切り替え機能を使用するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. **[W]**を押してください。

PC操作モードの設定

このホットキーにより、シングルPCモードとデュアルPCモードを切り替えることができます。CM1942をデュアルPCモードに切り替えるには、次の手順を実行してください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. **[O][Enter]**を押してください。

注意:

再度設定すると、シングルとデュアルのモードを切り替えます。シングルPCモードに戻すには、上記の手順を実行してください。

Nキー・ロールオーバー対応機能

キーボードのNキー・ロールオーバー対応機能を有効/無効にするには、次の手順に従って操作を行ってください。(初期設定は有効)

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
 2. [K][Enter]を押してください。
-

注意:

コンピューターのBIOS画面にて操作に問題が発生した場合は、この機能をオフにして、もう一度お試しください。

マルチスクリーンコントロール

デュアルPCモードでのマルチスクリーンコントロールを有効または無効にするには、次の手順を実行してください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
 2. [Y][Enter]を押してください。
-

注意:

1. 有効無効を切り替えるには、手順1と2を繰り返してください。
 2. この機能は、マウスエミュレーションが有効の時に利用できません(p.34「マウスエミュレーションの制御」参照)。
-

画面解像度の設定

画面の解像度を設定するには、次の手順に従って操作を行ってください。デュアルPCモードのマルチスクリーンコントロール機能は2つの画面解像度が同じであることが前提となっています。異なるディスプレイ解像度では利用できないため、ご注意ください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. [L] [横解像度(例・1920)] [x] [縦解像度(例・1080)] [Enter]
使用可能な解像度の値は、100～9999x100～9999の範囲で設定できます。CM1942の対応最大解像度は4096x2160となります。これよりも大きい解像度を指定しても、映像表示はできません。

モニターレイアウトの設定

モニターレイアウトを設定する前に、デュアルPCモードに切り替える必要があります。p.34「PC操作モードの設定」を参照してください。モニターのレイアウトを設定するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. 以下のパラメーターを使用してレイアウトを入力してください：

パラメーター	行	モニター
P	A	1、2
	B	1、2

「**パラメーター**」は、レイアウト設定のコマンドを意味します。「**行**」とは、縦方向のレイアウトを組む時に、Aは上、Bは下を意味します。横方向のレイアウトを組む場合はAのみ指定します。「**モニター**」とはアウトプットのポートを指します。レイアウトを指定する場合は、左から右に数字を入力してください。

注意:

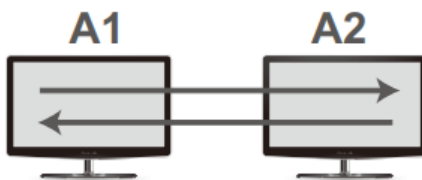
左右2画面でのレイアウトを指定する場合は、行の「B」は指定せずに設定をしてください。

以下は、レイアウト別にコマンド例を示したものです。

例1

横方向で左にアウトプット1、右にアウトプット2のレイアウトならPA12[Enter]と入力します。

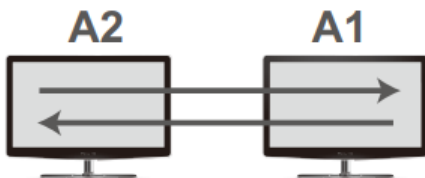
横方向のモニターレイアウト1



例2

横方向で、左にアウトプット2、右にアウトプット1のレイアウトを指定する場合は、PA21[Enter]と入力します。

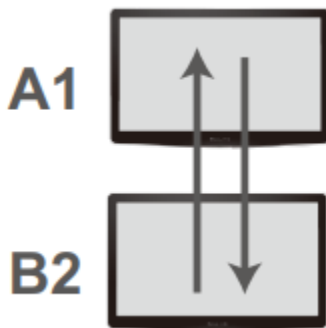
横方向のモニターレイアウト2



+ちせ例3

縦方向のレイアウトでアウトプット1を上、アウトプット2を下にする場合は、PA1B2[Enter]と入力します。

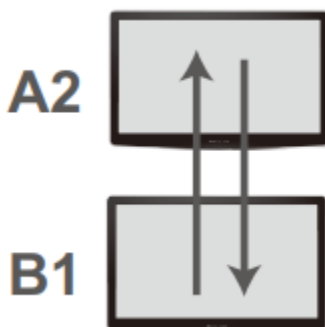
縦方向のモニターレイアウト1



例4

縦方向のレイアウトでアウトプット2を上、アウトプット1を下にする場合はPA2B1[Enter]と入力します。

縦方向のモニターレイアウト2



ステレオオーディオミキサー

この機能は、2つのPCアナログオーディオ入力を同時にスピーカーに出力できるモード機能です。このステレオオーディオミキサーモードを有効にするには、次の手順を実行してください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. **[A][O][Enter]** を押してください。

注意:

1. このモードを有効/無効にするには、手順1と2を繰り返してください。
 2. HDMIオーディオのミキシングやエンベド・ディエンベデッドは利用できません。アナログオーディオのみの2mixとなります。
-

自動オーディオミキサーモード

デュアルPCモードに切り替えた時だけに、自動でミキサーモードも連動させてアナログオーディオを同時出力させたい場合は次の手順を実行してください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. **[A][P][Enter]**を押してください。

注意:

このホットキーをお使いになる場合は、CM1942のファームウェアがv.1.0.066以降であることを確認してください。

手動オーディオミキサーモード

このモードは初期設定です。シングルPCモードやデュアルPCモードに切り替えても、オーディオソースは同時出力に切り替えないモードとして動作します。手動オーディオミキサーモードを有効にするには、次の手順を実行してください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. [A][R][Enter]を押してください。

注意:

このホットキーをお使いになる場合は、CM1942のファームウェアがv.1.0.066以降であることを確認してください。

EDIDモード

Extended Display Identification Data (EDID)は、ディスプレイの解像度情報を含むデータで、PCが出力する解像度を決定する時に使用されます。EDIDモードでは、接続したディスプレイのデータをスルーでソース機器に送るか、CM1942に内蔵する汎用EDIDかを選択できます。次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動してください(p.28参照)。
2. **[V][n][Enter]**を押してください。

ファンクションキー	操作方法
1	ポートAとポートBに接続されたモニターのEDIDを使用します。デフォルト設定です。
2	FHDモードのEDID(1920×1080 @ 60Hz)を設定します。
3	4K UHDモードのEDID(3840×2160 @ 60Hz)を設定します。
4	4K DCIモードのEDID(4096×2160 @ 60Hz)を設定します。

注意:

このホットキーをお使いになる場合は、CM1942のファームウェアがv.1.0.066以降であることを確認してください。

HSM一覧表

HSMの起動後 (p.28参照)、次のいずれかのキーを入力して、対応する機能を実行します。









キー	機能
[F1]	キーボードとマウスをSPCモードに設定し、特殊なオペレーティングシステムで標準(104キー)キーボードとして動作できるようにします。
[F2]	Macキーボードのエミュレーションを有効にします。
[F3]	Sunキーボードのエミュレーションを有効にします。
[F4]	テキストエディターまたはワープロソフトで現在の設定を出力します。
[F5]	USBキーボードとマウスのリセットを実行します。
[F6][n][n][Enter]	キーボードの言語レイアウトを設定します。nnはキーボード言語コードを表す2桁の数字です(US英語:33、フランス語:08、ドイツ語:09、日本語:15)。
[F10]	Windowsキーボードエミュレーションを有効にします。
[A] [O] [Enter]	ステレオオーディオミキサーモードを有効/無効にします。
[A] [P] [Enter]	自動オーディオミキサーモードを有効にします。 注意: CM1942のファームウェアがv.1.0.066以降であることを確認してください。
[A] [R] [Enter]	手動オーディオミキサーモードを有効にします。 注意: CM1942のファームウェアがv.1.0.066以降であることを確認してください。
[B]	ビーブ音を有効/無効にします。
[E]	電源状態検出機能のオン・オフを切り替えます。
[H]	HSM呼び出しキーをデフォルトと代替で交互に切り替えます。
[K] [Enter]	Nキー・ロールオーバー対応機能を有効/無効にします。
[L] [解像度] [Enter]	モニターの解像度を設定します。 「解像度」の部分には、モニターの解像度を入力します。使用可能な解像度値は100~9999x100~9999の範囲で設定できます。
[M]	マウスのエミュレーションを有効/無効にします。

キー	機能
[N]	キーボードのエミュレーションを有効/無効にします。
[O] [Enter]	シングルPCモードとデュアルPCモードを切り替えます。
[P] [m] [n] [Enter]	物理モニターのレイアウトをマルチスクリーンコントロール用に設定します。m=AまたはBで、行番号を参照します。 n=1または2は、モニターのポート番号を指します。
[R] [Enter]	ホットキーの設定をデフォルトの状態にリセットします。
[S]	手動ポート選択ボタン設定をデフォルトと代替で交互に切り替えます。
[T]	ポート切り替えキー設定をデフォルトと代替で交互に切り替えます。
[u] [p] [g] [r] [a] [d] [e] [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを呼び出します。
[V] [n] [Enter]	KVMスイッチのEDIDモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ n = 1、ポートAとポートBに接続されたモニターのEDIDを使用します(デフォルト設定)。 ◆ n = 2、FHDモードのEDID(1920 × 1080 @ 60Hz)を設定します。 ◆ n = 3、4K UHDモードのEDID(3840 × 2160 @ 60Hz)を設定します。 ◆ n = 4、4K DCIモードのEDID(4096 × 2160 @ 60Hz)を設定します。 注意: CM1942のファームウェアがv.1.0.066以降であることを確認してください。
[W]	マウスによるポート切り替え機能を有効/無効にします。有効になっている場合、マウスホイールを2回クリックしてポートを切り替えます。マウスエミュレーションを有効にする必要があります。
[X] [Enter]	ホットキーによるポート切り替え機能を有効/無効にします。
[Y] [Enter]	マルチスクリーンコントロール機能を有効//無効にします。
[Esc]または スペースキー	設定モードを終了します。

第5章 キーボードエミュレーション

Macキーボード

PC互換(101/104キー)キーボードは、Macキーボードの機能をエミュレートできます。エミュレーションマッピングは下表のとおりです。



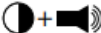




PC用キーボード	Macキーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl][1]	
[Ctrl][2]	
[Ctrl][3]	
[Ctrl][4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

注意:

キーの組み合わせを使用する場合は、最初のキー(Ctrl)を押して指を離し、次にアクティベーションキーを押して指を離してください。

Sunキーボード

PC互換(101/104キー)キーボードは、[Ctrl]キーを他のキーと組み合わせで使用すると、Sunキーボードの機能をエミュレートできます。対応する機能を下表に示します。

PC用キーボード	Sunキーボード
[Ctrl][T]	Stop
[Ctrl][F2]	Again
[Ctrl][F3]	Props
[Ctrl][F4]	Undo
[Ctrl][F5]	Front
[Ctrl][F6]	Copy
[Ctrl][F7]	Open
[Ctrl][F8]	Paste
[Ctrl][F9]	Find
[Ctrl][F10]	Cut
[Ctrl][1]	
[Ctrl][2]	
[Ctrl][3]	
[Ctrl][4]	
[Ctrl][H]	Help
	Compose
	

注意:

キーの組み合わせを使用する場合は、最初のキー(Ctrl)を押して指を離し、次にアクティベーションキーを押して指を離してください。

第6章 ファームウェア アップグレードユーティリティ

Windows用のファームウェアアップグレードアプリ(FWUpgrade.exe)は、CM1942のファームウェアをアップグレードするツールです。

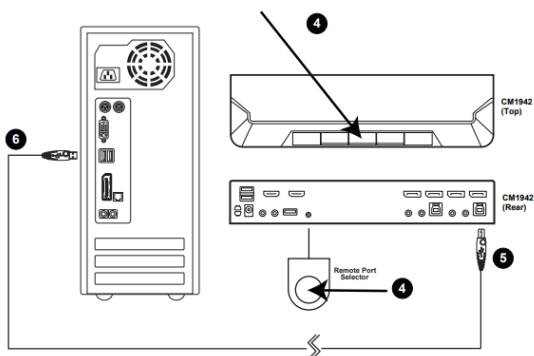
新しいバージョンは随時、弊社ウェブサイトにて公開されます。互換性などの問題が発生した場合などは以下ページの「サポートとダウンロード」の項目にて、最新パッケージが公開されているかご確認ください。

<http://www.aten.com/global/en/support-and-downloads/downloads/>

セットアップの前に

アップグレードするには、下記の手順に従って操作をしてください。

1. ファイルをダウンロードするため、上記ページにアクセスし、ATENサポート&ダウンロード→ダウンロードのページに移動します。デバイスの型番(CM1942)を選択して、ファームウェアアップファイルの一覧を取得してください。
2. インストールしたいファイル（通常は最新）を選択し、ダウンロードします。
3. ダウンロードしたファイルをzipファイルから解凍します。
4. CM1942を電源アダプターを含む全てのケーブルを外してください。



5. 手順3にてファイルダウンロードしたPCと、CM1942背面にあるCPU1のUSBポートをUSBケーブルで接続します。
6. 本体ならモードボタン、リモコンならばボタンを長押ししたままにします。
7. ボタンを長押ししたまま、CM1942に電源を入れます。各ポートにある3つのLEDが点滅すると、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを示します。

キーボードをコンソールポートに接続し、ホットキーを使用してファームウェアアップグレードモードを起動することもできます。p.32「ファームウェアアップグレードモード」を参照してください。

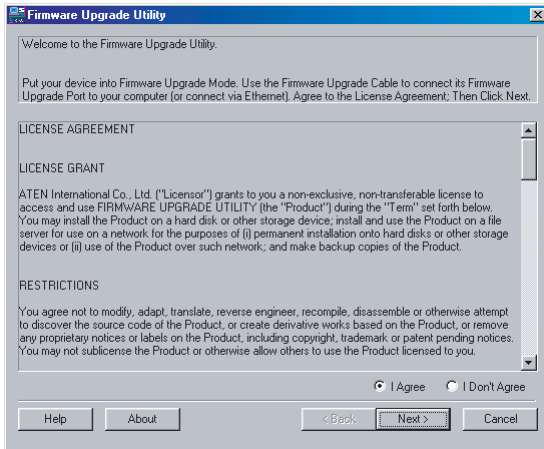
注意:

CM1942がファームウェアアップグレードモードに入っている間、通常のキーボードとマウス、画面は利用できません。通常モードに戻すには、アップグレード作業を完了させるか、アプリ実行前にACアダプター抜き差しによる本体再起動でファームウェアアップグレードモードを終了させてください。データ書き換え中に電源は落とさないでください。故障の原因となります。

アップグレードの開始

ファームウェアをアップグレードする:

1. ダウンロードし解凍したファイルを実行します。ファイルアイコンをダブルクリックするか、コマンドラインを開いてフルパスを入力します。
そうすると、ファームウェアアップグレードユーティリティの初期画面が表示されます。

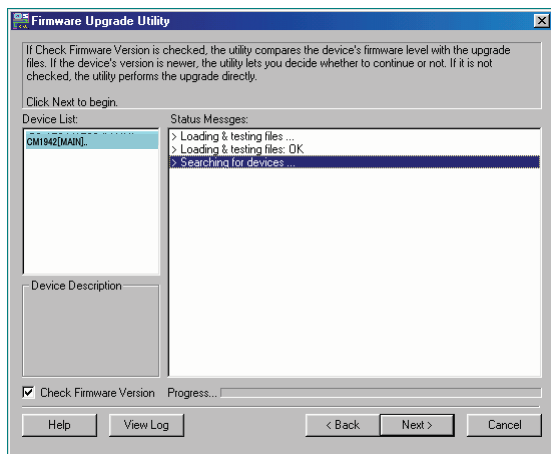


注意:

このセクションに表示される画面は参考用です。ファームウェアアップグレードユーティリティによって表示される実際の画面の表現とレイアウトは、これらの例と若干異なる場合があります。

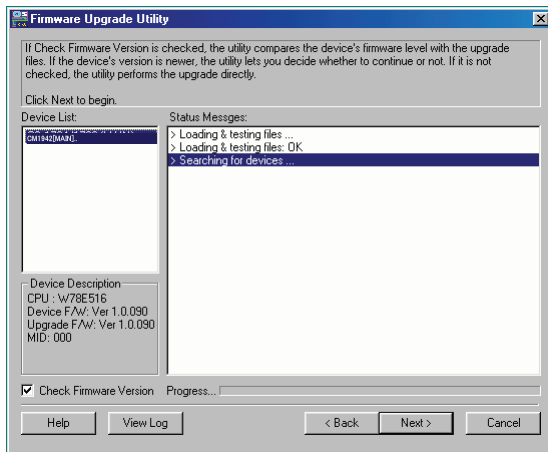
2. 使用許諾契約書を読んでください。「同意する」ラジオボタンを有効にしてください。

3. 「次へ」をクリックして先へ進んでください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。

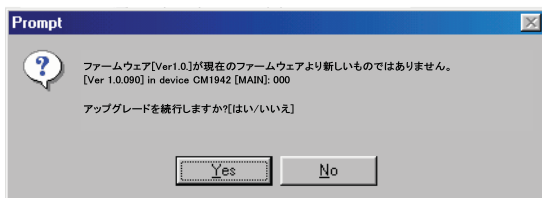


ユーティリティは、お使いのシステムをチェックします。このパッケージによってアップグレードできる全てのデバイスが、「デバイス一覧」パネルに表示されます。

4. 一覧でデバイスを選択すると、その説明が「デバイスの説明」パネルに表示されます。



5. デバイスを選択したら、「次へ」をクリックしてアップグレードを実行してください。



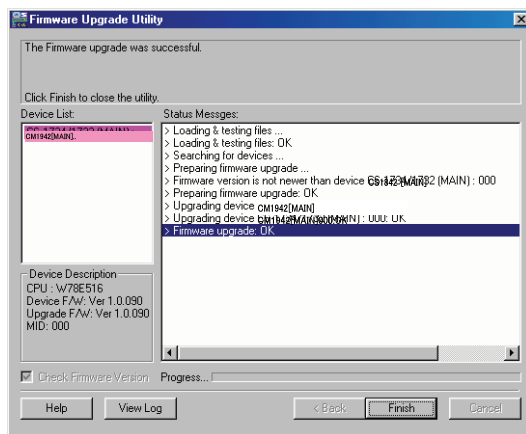
「ファームウェアバージョンを確認する」の項目を有効にした場合、ユーティリティーはデバイスのファームウェアバージョンとアップグレードファイルのファームウェアバージョンを比較します。デバイスのバージョンがアップグレードバージョンよりも新しい場合、状況を通知するダイアログボックスが表示され、続行またはキャンセルのオプションが表示されます。

「ファームウェアバージョンを確認する」を有効にしなかった場合は、アップグレードファイルのバージョンにかかわらず、アップグレードファイルがインストールされます。

アップグレードが進むと、ステータスメッセージパネルにステータスメッセージが表示され、完了に向けた進捗状況がプログレスバーに表示されます。

アップグレードの成功

アップグレードが完了すると、手順が成功したことを通知する画面が表示されます。



「完了」をクリックして、ファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。

正常に完了すると、KVMスイッチは自動的に再起動し通常モードに戻ります。

アップグレードの失敗

「アップグレード成功」画面が表示されない場合は、アップグレードが正常に完了しなかったことを意味し、最初からアップグレード手順を繰り返す必要があります。

安全にお使いいただくために

- 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- 本製品は、屋内での使用に限ります。
- また、弊社ウェブサイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面（台車、簡易的なスタンドやテーブル等）を避けるようにしてください。装置が落下すると、深刻な損傷が生じます。
- 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。お手入れには、湿らせて固く絞った布を使用してください。
- 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。

い。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。

- 電気回路が過負荷状態に陥らないようにしてください。電気機器を回路に接続する前に、電源装置の制限を把握し、超えないようにしてください。回路の電気仕様を常に見直して、危険な条件を生じさせていないかどうか、また、すでに危険な条件がそろっていないかどうかを確認してください。電気回路の過負荷は火災や機器破損の原因となります。
- 設置場所への損傷を防ぐために、全てのデバイスを適切に接地することが重要です。
- 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。全ての保守については、適格な保守担当者に問い合わせてください。
- 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。

- 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。他のコントロールの不適切な調整は、修理する資格のある技術者による広範な作業を必要とする損傷をもたらす可能性があります。

トラブルシューティング

概要

操作上の問題には、様々な原因が考えられます。問題を解決するにあたり、まず、使用する全てのケーブルが正しく接続され、ポートにしっかりと取り付けられていることを確認してください。

また、過去のバージョンで検出された問題が、新しいファームウェアの適用で解決する場合があります。製品のファームウェアが最新バージョンでない場合は、アップグレードを実行してください。アップグレードの詳細については、第6章「ファームウェアアップグレードユーティリティ」を参照してください。

症状	考えられる原因	アクション
マウスまたはキーボードが応答しない。	マウスまたはキーボードのリセットが不適切です。	コンソールポートのケーブルを接続し直してください。
	CM1942をリセットする必要があります。	システムにおける全ての機器の電源を切ってください(p.10「安全上の注意」の上部を参照)。CM1942の電源を切ったら、5秒以上経過してから電源を入れてください。
USBデバイスが応答しない。	USBポートをリセットする必要があります。	CM1942のリアパネルにあるUSBポートからデバイスのUSBケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。
	PCまたはOSがUSB2.0/3.0に対応していない。	CM1942にはUSB3.0ハブが内蔵されているため、USB2.0/3.0に対応していないPCやOSには対応していません。 USB 2.0に対応していないOSでは、[F1]ホットキー機能を使用してキーボードやマウスの機能をリセットできます。p.31を参照してください。

症状	考えられる原因	アクション
デバイスが認識されない(Windows)。	Windowsのタイミングの問題です。	<ol style="list-style-type: none"> 1. KVMケーブルをコンピューターのUSBポートから外してください。 2. Windowsのシステム設定に進み、不明なデバイスのエントリーを削除してください。 3. KVMケーブルを差し込み直してください。Windowsがデバイスを認識します。
フロントパネルのプッシュボタンのコンボキーが、設定後でも機能しない。	一部のホットキーは、フロントパネルのプッシュボタンのコンボキーとしてサポートされていません。	[X][Enter]、[R][Enter]および[upgrade][Enter]ホットキーは、フロントパネルのプッシュボタンのコンボキーとして設定できません。使用する別のホットキーを選択してください。

仕様

機能		GM1942	
コンピューター 接続数	ダイレクト	2	
ポート選択		ホットキー、プッシュボタン、マウスホイール、 マウスカーソル、ワイヤードリモコン	
コネクタ	コンソール ポート	キーボード	USB Type-Aメス × 1
		マウス	USB Type-Aメス × 1
		ビデオ	HDMI メス × 2(Black)
		スピーカー	3.5mmオーディオジャック メス × 2 (Green、フロント × 1、リア × 1) 3.5mmオーディオジャック メス × 2 (Pink、フロント × 1、リア × 1)
	KVM ポート	キーボード/ マウス	USB3.1 Gen1 Type-B メス × 2(Blue)
		ビデオ	DisplayPort メス × 4(Black)
		スピーカー	3.5mmオーディオジャック メス × 2(Green) 3.5mmオーディオジャック メス × 2(Pink)
	ワイヤードリモコン		2.5mm オーディオジャック メス × 1(Black)
	電源		DC電源ジャック × 1
	USBハブ		USB 3.1 Gen 1 Type-A メス × 2 (Blue、フロント × 1、リア × 1)
スイッチ	選択	プッシュボタン × 3	
LED	オーディオ	2 (Green)	
	KVM	2 (Orange)	
	USB	3 (Green)	
	動作モード	2 (Orange)	
エミュレーション	キーボード/マウス	USB	
ビデオ		4096 × 2160@60Hz	
スキャンインターバル		1～99秒 (デフォルト: 5 秒)	
消費電力		DC12V: 11.58W: 97BTU	

機能		CM1942
動作環境	動作温度	0～40℃
	保管温度	-20～60℃
	湿度	0～80%RH、結露なきこと
ケース	ケース材料	メタル
	重量	0.64kg(1.41 ポンド)
	サイズ(W×D×H)	26.00 × 7.18 × 4.25cm (10.24 × 2.83 × 1.67 インチ)

* ポートの切り替えは、エミュレーションモードの3キーUSBマウスホイールでのみ機能します。

ホットキーのデフォルト設定

工場出荷時におけるホットキーのデフォルト設定は次のとおりです。

設定	デフォルト
ポート切り替え	[Scroll Lock] [Scroll Lock]
HSMの起動	[Number Lock] [-]
キーボードエミュレーション	有効
マウスエミュレーション	有効
オートスキャン スキャンインターバル	5 秒
マウスホイールによる切り替え	無効
電源状態検知機能	有効
キーボード操作プラットフォーム	Windows(全CPUポート)
キーボード言語のレイアウト	英語
ビープ音	有効
ポート切り替えキー	有効
Nキー・ロールオーバー キーボード	有効
PC操作モード	シングルPCモード
解像度(マルチスクリーンコントロール用設定)	無し
マルチスクリーンコントロール	無効